

ニタイ・トだより

間 48712332

特別展連携事業「記憶の中の昭和と昭和を振り返る座談会」

座談会「記憶の中の昭和」を8月15日に行

いました。役場に勤務され、町史編さん事業にも関わった橋本勲さん、学校教諭として勤務された千葉誠治さん、農協理事・組合長として活躍された高取剛さん、標茶町女性団体連絡協議会会長として活躍されている江口サチ子さんの4人の方に話していただきました。橋本さんは各地域の団体を統合し、効率的に活動できるよう多くの方と話したことで、千葉さんは初任校の上虹別小学校について、高取さんからは酪農業について、江口さんからは終戦後のお話を語っていただきました。最後に4人の共通認識として、昔に比べて人と人のつながりが希薄になっていること、今後人のつながりがより大切になっていくことを話されました。

今回の座談会の内容は冊子にしますので、興味のある方はぜひご覧下さい。



▲座談会のようす

まちづくり町民講座・森と川の月間関連事業「見て知ろう！本物のキタサンシヨウウオ」

標茶町指定天然記念物のキタサンシヨウウオについての環境フォーラムを8月29日に行いました。NPO法人環境把握推進ネットワーク代表の照井滋晴さん、AOAOSAPPROで飼育員としてキタサンシヨウウオの生息地域外保全事業（人工飼育）を担われた大下瑞貴さん、当館の元永学芸員の3人に話していただきました。照井さんはキタサンシヨウウオの生息地の発見と既存の生息地環境整備が大切になると、大下さんからはキタサンシヨウウオの成長過程と孵化率について、元永学芸員からはキタサンシヨウウオをはじめとする北方系の生き物について語っていただきました。また講演会と合わせてAOAOSAPPROで育ったキタサンシヨウウオの幼体についても特別公開されました。



▲放流されるキタサンシヨウウオの幼体